

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 5 年 12 月 25 日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問Love&Smile

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	2	時間調整やパーティションを活用	未就学児と小学生の合同時間は活動内容の違いがある為狭さや騒音もあります。時間の配慮やパーティションを活用し療育、学習をしています。
	2	職員の配置数は適切である	7			作業療法士勤務。より一層手厚い療育を提供致します。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7		お子様に合わせ環境整備を常に心掛けています	玄関は多少室内への上り口が段差となっていますが踏み台をを設置しております。各部屋は段差のないフローリングとなっています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		お子様の成長でどんな些細なことでも改善に向け実行しています。	毎日各お子様について会議をし職員全員共有しています。今、何が必要か、どこを伸ばすか、など振り返りをしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			アンケート結果を親身に受け止め改善に努めております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			毎年ホームページにて好評しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7		現在検討中です。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		事業所全体でも研修をしています	職員の意欲に合わせ研修の機会は充分にいただいております。また、研修は積極的に確保しております。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		普段のお子様の様子の評価、保護者のニーズを大切にしています。	保護者のニーズに寄り添い、事業所や学校の様子と共有し現時点でお子様に適した計画を立てています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		お子様の状況を把握・分析しどのような療育方法が必要か明確にするよう努力をしています。	お子様の少しずつ成長を把握、分析を心がけています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		月1でプログラムを立案しています	月1回保育士、作業療法士、児童発達管理責任者で会議情報交換しプログラムを立てています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		偏ることがないように常日頃会議をしています。	毎日の活動様子を把握し現在必要な個別や団体活動を工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		長期休暇にしかできない体験等進んで取り組んでいます。	長期休みに普段合同活動が少ない就学時前のお友だちとの関りから学ぶことや野外活動での課題を設定支援しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7		各職員からの分析や現在の状態の情報を細かく聞いています。	職員会議で現在の子どもの状況を話し合い何が必要かどこを伸ばすか十分に話し合い計画を立てています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		会議内容の記録を必ずし、参加できなかった職員にもわかるようにしています。	毎日会議をし職員間で周知するようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		その日あった出来事を必ず話合いをし次の日の課題としています。	その日の出来事や成長がみられた部分や他児とのトラブルなど事細かに報告し次の日への課題とする事にしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		その日のうちに記録しています。	療育内容や活動内容、お子様の様子を対応した職員が記入しています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		相談支援事業所と連携しています。	相談支援事業所と連携し情報共有をしています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7				
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		普段のお子様の状況を職員全体で把握しています。その中でもより詳しく理解している者が参画しています。	児童発達管理責任者ケース担当職員が状況に合わせ参画しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7		送迎時や授業や保育終了時に許される学校や保育園、幼稚園とは電話で共有しています。	学校や保育園、幼稚園の中では情報共有を遠慮するところもありますが、相談支援事業所を通し連絡が取れるようにできたらと思います。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		7	現在該当なし	現在該当なし